

2023(令和5)年度 部局マニフェスト
～私たちの組織使命と目標～

部局名	財務部
役 職	部長
氏 名	東瀬 嘉章
連絡先	0595-22-9610(内線2820)



業績目標の達成状況
5. 先進的な取り組みを行い、成果があった
4. 達成水準を上回る成果があった
3. 業績目標を達成した
2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった
1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. 7-2・①				
持続可能な財政運営	公債費の縮減	〈現在の状態〉 市債残高(元利) 約794億円(令和4年度決算見込み) ↓ 〈達成目標〉 ・年間約22億円縮減 ※目標が達成した状態 見込額 約772億円 市債残高(元利)の縮減で、財政健全化の判断基準である将来負担比率と実質公債費比率が改善し、将来の市民負担の軽減に繋がる。	・経常的な経費の抑制を図るとともに、投資的経費の厳正な事業選択などを進めることで、プライマリーバランスを堅持する。 ・将来負担を求めることが適正でない事業(建物の解体等)で、充当率または交付税措置が低い起債は原則借りないことで起債を減額する。	3	プライマリーバランスを堅持することにより、市債残高(元利)が令和4年度末時点の約778億円(決算)から約21億円縮減し、令和5年度末時点で約757億円(12月補正時点)となる見込みである。 市債残高の縮減により、将来の市民負担の軽減に繋がり、目標を達成することができた。
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. 7-2・②				
公有財産の有効活用	公共施設等総合管理計画の推進によるハコモノ公共施設保有面積の縮減	〈現在の状態〉 公共施設最適化計画縮減目標面積16.6万㎡のうち、令和4年度末で11.7万㎡縮減している。 ↓ 〈達成目標〉 毎年度、均等に面積を縮減していくとすれば、年間約7,000㎡を縮減する必要があり、今年度の個別計画に基づき、阿山ふるさとの森及び周辺公共施設の利活用方法の検討によりハコモノ保有面積を縮減する。 ※目標が達成した状態 公共施設最適化計画に基づくハコモノ公共施設面積7,000㎡を縮減することにより、維持管理経費の削減を行うことができている。	・2020(令和2)年度からの公共施設最適化計画第2期実行計画に基づき、保有面積の縮減に取り組む。 ・阿山ふるさとの森及び周辺公共施設は、民間のアイデアによる利活用の公募案を作成する。	2	SHINDO YARDSのオープンに伴い、伊賀支所の移転が終了し、阿山ふるさとの森及び周辺公共施設についても、公募プロポーザルが実施されていることから、約8,400㎡の保有面積の縮減が見込める予定であったが、あやま関連の条例議案等が否決されたため、最終的には4,300㎡あまりの縮減にとどまった。
◎部局目標3	関連の施策・基本事業No. 7-2・③				
税収確保と債権管理	未納債権の減少	〈現在の状態〉 令和4年度 1億円減少予定 (17億6千万円) ↓ 〈達成目標〉 ・令和5年度に、1億円以上減少させる。 ※目標が達成した状態 所管課による債権管理の適正化が進み、滞納繰越債権が減少している。	・各種市債権の現年度分を繰り越さないための、職員のスキルアップ研修や処理体制の構築を図る。 ・移管引受事案について法令に則した処理を行う。	3	移管手続きを見直し、更に移管しやすい体制作りに努めた。11月末時点で85件を処理し、1億1,600万円余りを減少させた。今後も債権整理を進め未納債権の減少に努めていく。